



第2回 鳥獣被害対策便り

ツキノワグマ出没に関する注意喚起

今月の鳥獣被害対策便りは「ツキノワグマ出没」に関する注意喚起についてです。

婦恋村は周囲を山々に囲まれていて自然豊かな環境が魅力的ですが、その一方で野生鳥獣が居住区に出没することも多く確認されています。中でも、ここ数年ツキノワグマによる農作物被害や村内における目撃件数は増加傾向にあり、人身被害に至るケースも確認されています。

人身被害を避けるためには「そもそも遭遇しないようにする」「万が一遭遇した際の対処」が重要となりますので、ツキノワグマが冬眠から覚めて活発になるこれからの季節に備え、是非ご一読いただくようお願いいたします。

◇問い合わせ先 農林振興課 ☎ 96-1256

遭遇しないためのポイント

- ・外で作業をする際は、ラジオなど音の出るものを設置して自分の存在をアピールする
- ・クマの近づきやすい森林が近い農地は、周囲の灌木の刈り払いなどを行う
- ・クマの出没情報を収集し、頻出地における単独行動は避けるようにする
- ・クマの活動が活発になる夕暮れ～明け方の時間帯には外出を避ける
- ・クマの誘引物（放置果樹、廃棄農作物、生ゴミ、ガソリン、灯油など）を除去する
- ・クマが侵入しないよう自宅や倉庫の施錠を徹底する



遭遇した場合の対処方法

(1) 距離が離れていてクマがこちらに気付いていない場合

▶ ゆっくりと静かに立ち去る。

(2) 距離がある程度近くクマがこちらに気づいている場合

▶ 走ったり大声をあげるとクマを刺激してしまい、パニックになり突発的な攻撃をしてくる可能性があるため、クマから目を離さず（背を見せず）ゆっくりと静かに後退する。

(3) クマが近づいてきた場合

▶ もしもクマが近づいてきても、威嚇をするだけで途中で止まり後退することが多いため、冷静にクマとの間に障害物がくるようゆっくりと後退する。

(4) クマが至近距離まで迫ってきた場合

▶ 至近距離まで迫ってくると引っ掻かれたり噛まれたりする可能性がありますが、ツキノワグマは一撃を与えた後すぐに逃走することが多いとされています。両腕で顔面や頭部をガードし、直ちにうつぶせになるなどして致命傷を避けるようにしてください。

※万が一に備え、クマの出没しそうな場所を訪れる際はクマ撃退スプレーの携帯を推奨します。

